

令和 8 年 度

事業概要書

玖珠土木事務所

目 次

1. 職員現員数	1
2. 管内の現況	2
イ. 道路現況（国道、県道）	2
ロ. 河川現況	4
ハ. 港湾現況	4
ニ. 砂防現況	5
3. 令和8年度事業概要	8
イ. 主要施策（重点事業）の執行状況	8
ロ. 公共事業施工箇所調書	10
ハ. 単独事業費調書	14
ニ. 災害復旧事業進捗状況調書	15
ホ. 工事検査実績調書	15
4. 用地、登記事務処理状況	16

1. 職 員 現 員 数

(令和8年4月1日現在)

職 種 組 織		一般行政職員		技能労務職員						計	会計年度 任用職員	備考
		事務	技術	事務補佐	技術補佐	技師	道路パトロール員	土木巡視	業務技師 (道路パトロール員)			
所 長			1							1		
総務課	次 長 兼 課 長	1								1		
	総 務 班	5								5	1	
	用 地 班	3								3	4	
建設・保全課	課 長		1							1		
	管 理 班	2						1		3	1	
	保 全 班		4		1		1			6	1	
	企 画・道 路 班		5							5		
	河 川 砂 防 班		5							5		
計		11	16	0	1	0	1	1	0	30	7	

2. 管内の現況

玖珠土木事務所は、大分県西北部に位置する九重町・玖珠町の2町を所管区域とし、総面積は558.0km²(県全体の8.8%)、人口は20,090人(県全体の1.9%)となっている。(令和8年4月1日現在)

イ. 道路現況(国道・県道)

(道 路)

(令和6年3月31日大分県道路現況調書)

道路種別	路線数	実延長(m)	改良別内訳				路面別内訳			
			改良済(m) (5.5m以上)	%	未改良(m)	%	舗装済(m)	%	未舗装(m)	%
国 道	1	(3,359) 29,337	28,615	97.5%	722	2.5%	29,337	100%	0	0%
主 要 地 方 道	6	(607) 101,473	88,070	86.8%	13,403	13.2%	101,473	100%	0	0%
一 般 県 道	13	(2,855) 101,054	61,162	60.5%	39,892	39.5%	101,054	100%	0	0%
計	20	(6,821) 231,864	177,847	76.7%	54,017	23.3%	231,864	100%	0	0%

※上段()は、旧道で外数

※改良別・路面別内訳は、旧道除き

(橋 梁)

(令和6年3月31日大分県道路現況調書)

道 路 種 別	箇 所 数	橋 長(m)
国 道	26	1582.0
主 要 地 方 道	71	1,196.0
一 般 県 道	73	1,389.0
計	170	4,167.0

(旧道除く)

(トンネル)

(令和6年3月31日大分県道路現況調書)

道 路 種 別	箇 所 数	延 長(m)
国 道	7	812.0
主 要 地 方 道	4	397.0
一 般 県 道	3	367.0
計	14	1576.0

(旧道除く)

ロ. 河 川 現 況

(令和8年4月1日現在)

河 川 名	延 長(m)	河 川 名	延 長(m)	河 川 名	延 長(m)
玖 珠 川	55,800	入 道 川	4,000	西 田 川	3,000
春 田 川	1,065	野 上 川	15,450	板 屋 川	1,800
山 浦 川	6,000	小 久 保 川	2,380	地 蔵 原 川	1,600
浦 河 内 川	7,000	奥 双 石 川	2,200	書 曲 川	700
夕 露 川	1,400	中 巢 川	2,000	黒 川	2,840
太 田 川	7,450	鳴 子 川	9,000	大 九 郎 川	3,500
森 川	6,005	白 水 川	6,800	瀬 戸 谷 川	2,300
松 木 川	8,300	奥 郷 川	2,500	黒 子 川	3,300
松 葉 川	3,200	古 井 川	1,100	金 吉 川	3,434
町 田 川	10,000	谷 川	1,500	下 河 内 川	1,012
黒 猪 鹿 川	3,500	栃 の 木 川	2,000	1 級 河 川 計	38河川 196,936
相 挟 間 川	3,300	山 下 川	2,000	日 出 生 川	10,600
宝 泉 寺 川	1,800	後 谷 川	1,700	2 級 河 川 計	1河川 10,600
串 野 川	5,000	猪 伏 川	1,000	合 計	39河川 207,536

ハ. 港 湾 現 況

(令和8年4月1日現在)

港 湾 名	区 分	備 考
		該 当 な し

二. 砂防現況(砂防指定地)

(令和8年4月1日現在)

河 川 名	延 長(m)	河 川 名	延 長(m)	河 川 名	延 長(m)
白 水 川	4,370	梅 の 木 川	2,250	内 匠 川	1,323
板 屋 川	2,020	梅 の 木 川 及 び 支 川	821	倉 園 川	330
西 田 川	3,135	小 松 川	320	松 山 川	1,150
中 巢 川	1,747	大 浦 川	6,134	第 2 宝 泉 寺 川	400
鳴 子 川	13,600	専 道 川	1,000	生 竜 川	282
玖 珠 川	11,000	午 王 川	1,400	栗 原 川	850
奥 双 石 川	1,000	平 家 川	2,400	陣 ノ 内 川	141
筋 湯 川	2,870	米 山 川	1,200	日 ノ 迫 川	128
相 挟 間 川	4,114	清 田 川	2,100	木 納 水 川	380
石 原 川	2,050	大 谷 川	465	見 良 津 川	1,686
奥 郷 川	6,000	山 ノ 口 川	1,200	麦 ノ 平 川	580
宝 泉 寺 川	1,800	浦 河 内 川	2,400	高 橋 川	102
古 井 川	1,050	小 平 谷 川	3,700	野 矢 川 1 号	593
夕 露 川	1,400	入 道 川	1,400	第 2 下 河 内 川	475
黒 猪 鹿 川	3,500	後 谷 川	2,050	小 野 原 川	210
日 向 川	600	折 戸 川	1,590	春 田 川	2,430
山 浦 川	2,120	甘 川 水 川	1,600	谷 川 支 川	45
小 久 保 川	2,863	後 辻 川	1,700	中 板 川	206
桐 木 川	1,303	花 ノ 木 川	700	桐 木 川 2 号	76
唐 杉 川	218	花 ノ 木 川 支 川	250	梶 原 川	85
松 木 川	3,800	栃 ノ 木 川 及 び 支 川	1,431	春 井 手 川	940
串 野 川	5,000	田代川及び第1支川並びに第2支川	2,699	柿 西 川	193
森 川	6,550	嫁 田 川	1,661	田 中 川 2 号	210
野 上 川	10,000	嫁 田 川 支 川	650	第 2 地 蔵 原 川	400
音 無 川	4,900	円 徳 野 川	210	中 野 川 1 号	193
音 無 川 支 川	2,200	下 荻 川	2,174	中 野 川 3 号	193
大 岳 川	800	一 ノ 瀬 川	2,030	中 城 川	158
松 葉 川	6,500	下 河 内 川	1,013	横 道 川 3 号	285
仲 田 川	6,200	日 出 生 川	770		
相 の 迫 川	2,200	宇 土 川	1,930		
南 山 田 川	185	丸 塚 川	1,298		
鳴 川	2,500	野 倉 川	275		
第 2 筋 湯 川	280	走 落 川	1,600	砂 防 河 川 計 (指 定 済)	94河川 184,340

(地すべり防止区域)

(令和8年4月1日現在)

市 町 村 名	地 域 名	指 定 面 積 (ha)
該	当	し

(急傾斜地崩壊危険区域)

● 概 成 ▲ 一部概成 ○ 実施中 × 未着手

概 成……50地区
一部概成……2地区
未 着 手 ……1地区
実 施 中 ……6地区

(令和8年4月1日現在)

町 名	地 域 名	指定面積 (ha)	町 名	地 域 名	指定面積 (ha)
九 重 町 (35箇所) (37.00ha)	● 富 来 口	0.20	九 重 町	○ 小 平 谷	0.69
	● 下 旦	3.00		○ 芽 原 小 野	1.98
	● 大 竹	1.30		○ 五 分 市	1.44
	● 瀬 ノ 口	2.00	玖 珠 町 (24箇所) (44.08ha)	● 岩 ケ 鼻	9.00
	● 中 ノ 坪	2.00		● 塚 脇	0.51
	● 橋 場	1.87		● 十 五 駄	0.13
	● 野 上	0.32		● 上 の 市	0.48
	● 日 向	1.35		● 五 行 塚	0.68
	● 室 園	0.86		● 代 太 郎	2.98
	● 粟 野 本 村	1.23		● 十 の 釣	2.81
	● 筋 湯	0.07		● 田 代	0.49
	× 原	0.11		● 平 原 2 号	2.18
	▲ 小 松	0.22		● 平 原	1.59
	● 穴 井	1.40		● 大 野 原	0.83
	● 桐 木	1.70		● 大 野 原 2 号 地 区	0.44
	● 陣 ノ 内	0.30		● 市 ノ 村	0.98
	● 書 曲	0.48		● 井 の 尻	1.18
	● 麻 生 原	0.93		● 鷹 巢	0.35
	● 後 野 上	0.63		● 杉 塚	1.33
	● 田 尻	1.28		● 内 河 野	2.18
	● 後 野 上 本 村	0.37		● 戸 畑	1.25
	● 梶 屋	0.31		● 井 原	0.49
	● 北 方	1.16		● 下 の 園	3.24
	▲ 橋 場	1.40		○ 井 の 尻 2	2.60
	● 桐 木 2	0.77		● 朝 見	1.10
	● 狭 間	1.49		○ 谷 瀬	0.77
	● 越 戸	0.25		○ 田 の 平	4.41
	● 日 向 上	0.37			
	● 生 竜	0.59			
	● 釜 の 口	2.09			
	● 西 地 区	1.14			
	● 西 2	1.70	計	59箇所	81.08

急傾斜地崩壊対策事業町別(整備率)一覧表

(令和8年4月1日現在)

町 名	全危険箇所数 A	要対策箇所数 B	概 成 箇 所 数 C	要対策箇所の整備率 C／B(%)
九 重 町	85	80	28	35.0%
玖 珠 町	81	76	22	28.9%
玖珠土木管内計	166	156	50	32.1%

※ 危険箇所:保全人家5戸以上の危険箇所数

※ 要対策箇所:Aのうち人工斜面を除く箇所

3. 令和8年度の事業概要

イ. 主要施策（重点事業）の執行状況

1. 一般国道387号（引治工区） 道路改良事業

（1）事業の目的及び主旨

国道387号は大分県宇佐市を起点とし、玖珠町・九重町、熊本県小国町、菊池市を経由し熊本市へ至る幹線道路である。当路線は緊急輸送道路に指定されており、玖珠・九重管内においては、大分県と熊本県との物流、観光振興、地域生活を支える最も重要な路線の一つである。

玖珠土木管内における国道387号の改良率は約98%であるが、九重町大字引治に位置する本事業区間は未改良であり、幅員狭小、線形不良等により車両の安全な通行に支障をきたしている。さらに、過去には10年間で当該区間にて32件の交通事故も発生している状況である。

このため、本事業の実施により、幅員狭小、線形不良を解消することで、走行環境の改善並びに交通の安全性向上を図る。

（2）事業の執行及び成果

国道210号との交差点から急峻な地形と玖珠川に挟まれた約1,800mの未改良区間であり、経済性を考慮し、玖珠川を最短距離で橋梁にて渡河し、国道210号と直角に交差する延長約540mのバイパスとして整備を行う予定である。これにより、幅員狭小や線形不良が解消され、走行性・安全性の向上、環境負荷の軽減が図られる。令和5年度から事業着手しており、令和7年度は地質調査、構造物詳細設計、橋梁予備設計等を実施している。令和8年度には、法面設計、用地測量等を実施し、事業を推進していく。

2. 一般県道書曲野田線（松木～岩室工区） 道路改良事業

（1）事業の目的及び主旨

本路線は、九重町恵良を起点とし、玖珠町戸畑に至る一般県道であり、国道210号と平行して走るバイパス機能を有し、玖珠町森中央小学校の通学路に指定されるなど、地域にとって重要な路線である。

当該区間は、幅員狭小で、通学路であるが歩道がなく、交通事故等も発生していることから、現道拡幅整備を行い道路利用者の安全確保を図る。

（2）事業の執行及び成果

本事業は平成27年度より事業着手し、全体計画延長1,416mの道路整備を行っている。起点側約590mは、九重町大字松木に位置し、終点側約830mは玖珠町大字岩室に位置している。令和7年度は、終点側の新設橋梁上部工工事及び橋梁取付部の道路改良工事を実施している。令和8年度は、用地取得済み区間の道路改良工事を実施しながら、引き続き用地取得を進め、事業推進を図る。

また、事業区間中央付近にある玖珠町が実施する町道中島線の中島橋の架け替え計画と併せた道路整備を行っていく。

3. 一級河川野上川 広域河川改修事業

(1) 事業の目的及び主旨

野上川は、玖珠郡九重町大字田野の山麓に源を発し、玖珠川に流入する流域面積64.0km²の1級河川である。
本河川は令和2年7月豪雨により65戸（床上49戸・床下16戸）の家屋浸水、JR橋梁の流失等の甚大な被害が発生したため、河川整備を行い浸水被害の解消を図る。

(2) 事業の執行及び成果

本事業の全体計画延長はL=2,400mで、令和3年度から事業着手をしている。
令和8年度は、令和5年度から着手したJR橋梁（第一野上川橋梁）の架け替え工事を継続するとともに、護岸工事の整備も推進する。

4. 専道川 火山砂防事業

(1) 事業の目的及び主旨

山国川水系専道川は玖珠町北西部に位置し、保全対象として人家22戸、第2次緊急輸送道路である県道玖珠山国線及び町道専道線を含む土石流危険渓流である。
本渓流の山腹には、溪岸浸食及び倒木等が多く点在しており、集中豪雨により土石流災害の危険性が懸念されるため、早急に対策を講じて人家等の保全を図る。

(2) 事業の執行及び成果

本事業は砂防堰堤1基、渓流保全工を設置する計画で、平成29年度から事業着手をしている。
令和4年度から工事用道路を整備し、令和6年度に砂防堰堤の工事に着手。
令和8年度は砂防堰堤を完成させ、引続き渓流保全工、管理用道路の工事を推進する。

5. 横道川2号 通常砂防事業

(1) 事業の目的及び主旨

筑後川水系横道川2号は九重町北部に位置し、保全対象として人家12戸、事業所1箇所、第1次緊急輸送道路である県道飯田高原中村線及び町道重原線を含む土石流危険渓流である。
本渓流の山腹には、溪岸浸食及び倒木等が多く点在しており、集中豪雨により土石流災害の危険性が懸念されるため、早急に対策を講じて人家等の保全を図る。

(2) 事業の執行及び成果

本事業は砂防堰堤1基を設置する計画で、令和3年度から事業着手をしている。
令和8年度は工事用道路の工事を推進する。

ロ. 公共事業施工箇所調書

※注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記入しています。

※注2:工事費は内示額または交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

※注3:事務費除きの工事費を記載しています。

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川・地区名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の 別	概要 上段:全体事業費 中段:令和8年度 下段:令和9年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大 字				
1	道 路	補助事業	道 路 改 良	書 曲 野 田 線 【松木～岩室工区】	九重町～ 玖珠町	松木～ 岩室	295,000 (31,000)	継続	C= 1,910,000 C= 295,000 C= 299,000	L= 1,416 L= 219 L= 222
	"	"	小 計	1箇所			295,000 (31,000)			
2	道 路	社会資本整備 総合交付金	道 路 改 良	国 道 3 8 7 号 【引 治 工 区】	九重町	引治	45,000 (0)	継続	C= 1,900,000 C= 45,000 C= 1,710,172	L= 900 L= 21 L= 810
3	"	"	"	飯 田 高 原 中 村 線 【河 内 3 工 区】	九重町	町田	122,600 (0)	継続	C= 1,570,000 C= 122,600 C= 137,400	L= 660 L= 52 L= 58
4	"	"	"	玖 珠 山 国 線 【立 羽 田 工 区】	玖珠町	古後	91,785 (0)	継続	C= 1,213,000 C= 91,785 C= 125,215	L= 1,640 L= 124 L= 169
	"	"	小 計	3箇所			259,385 (0)			
5	障害防 止対策	補助事業	道 路 改 良	川 上 玖 珠 線 【戦 車 道 工 区】	玖珠町	帆足	135,300 (0)	継続	C= 1,185,661 C= 135,300 C= 355,666	L= 900 L= 103 L= 270
	"	"	小 計	1箇所			135,300 (0)			

※施工箇所が点在するため図面には表示していない

令和8年4月7日現在

ロ. 公共事業施工箇所調査

※注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記入しています。

※注2:工事費は内示額または交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

※注3:事務費除きの工事費を記載しています。

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川・地区名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の 別	概要 上段:全体事業費 中段:令和8年度 下段:令和9年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大 字				
6	道 路	補助事業	交 通 安 全	飯 田 高 原 中 村 線	九重町	田野	80,000 (0)	継続	C= 1,373,000 C= 80,000 C= 0	L= 1,200 L= 70 L= 0
※	"	"	橋 梁 補 修	管 内 一 円	玖珠町 九重町	管内一円	138,746 (0)	継続	C= 138,746	1式
※	"	"	トンネル補修	管 内 一 円	玖珠町 九重町	管内一円	8,000 (0)	継続	C= 8,000	1式
7	"	"	橋 梁 補 修 (橋 梁 架 替)	飯 田 高 原 中 村 線	九重町	小松橋	75,000 (5,000)	継続	C= 1,100,000 C= 75,000 C= 855,000	L= 166 L= 11 L= 129
※	"	"	橋 梁 点 検	管 内 一 円	玖珠町 九重町	管内一円	32,001 (0)	継続	C= 32,001	1式
※	"	"	トンネル点検	管 内 一 円	玖珠町 九重町	管内一円	18,001 (0)	継続	C= 18,001	1式
	"	"	小 計	6箇所			351,748 (5,000)			
※	道 路	防災・安全 交付金	災 害 防 除	森 耶 馬 溪 線 外	玖珠町 九重町	管内一円	75,200 (600)	継続	C= 75,200	1式
8	"	"	交 通 安 全	国 道 3 8 7 号	玖珠町	森	10,000 (0)	継続	C= 1,600,000 C= 10,000 C= 1,575,712	L= 600 L= 4 L= 591
9	"	"	交 通 安 全	田 野 野 上 線	九重町	野上	6,000 (0)	新規	C= 480,000 C= 6,000 C= 474,000	L= 318 L= 4 L= 314
	"	"	小 計	3箇所			91,200 (600)			
	道 路	全体	合 計	14箇所			1,132,633 (36,600)			

※施工箇所が点在するため図面には表示していない

令和8年4月7日現在

ロ. 公共事業施工箇所調書

※注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記入しています。

※注2:工事費は内示額または交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

※注3:事務費除きの工事費を記載しています。

図面 番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川・地区名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規 継続 の別	概要 上段:全体事業費 中段:令和8年度 下段:令和9年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大 字				
10	河 川	補助事業 防災・安全 交付金	広域河川改修	野 上 川	九重町	右田	150,000 (10,000)	継続	C= 6,370,000 C= 150,000 C= 4,374,000	L= 2,400.0 L= 56.5 L= 1,648.0
	"	"	小 計	1箇所			150,000 (10,000)			
※	砂 防	補助事業	砂 防 メ ン ス テ ナ ン ス	白 水 川 外	九重町	田野 外	120,000 (4,000)	継続	C= 120,000	1式
	"	"	小 計	1箇所			120,000 (4,000)			
11	砂 防	防災・安全 交付金	火 山 砂 防	専 道 川	玖珠町	古後	40,000 (0)	継続	C= 350,000 C= 40,000 C= 54,270	H= 12.5 H= 1.4 H= 1.9
12	"	"	"	田 の 平 川	玖珠町	戸畑	30,000 (0)	新規	C= 250,000 C= 30,000 C= 220,000	H= 6.0 H= 0.7 H= 5.3
13	"	"	通 常 砂 防	富 迫 川	九重町	引治	10,000 (10,000)	継続	C= 370,000 C= 10,000 C= 285,410	H= 11.5 H= 0.3 H= 8.9
14	"	"	"	横 道 川 2 号	九重町	右田	15,000 (15,000)	継続	C= 320,000 C= 15,000 C= 226,730	H= 13.0 H= 0.6 H= 9.2
15	"	"	"	小平谷川1号・3号	九重町	野上	30,000 (15,000)	継続	C= 784,000 C= 30,000 C= 552,668	H= 13.9 H= 0.5 H= 9.8
16	"	"	"	小 平 谷 川 4 号	九重町	野上	24,000 (24,000)	継続	C= 298,000 C= 24,000 C= 201,000	H= 7.0 H= 0.6 H= 4.7
17	"	"	"	串 野 川 1 号 (A)	九重町	町田	20,000 (0)	継続	C= 250,000 C= 20,000 C= 200,000	H= 6.5 H= 0.5 H= 5.2
			小 計	7箇所			169,000 (64,000)			

※施工箇所が点在するため図面には表示していない

令和8年4月7日現在

ロ. 公共事業施工箇所調書

※注1:補助事業については内示額を、交付金事業については交付申請予定額を記入しています。

※注2:工事費は内示額または交付申請予定額であり、執行額とは異なります。

※注3:事務費除きの工事費を記載しています。

図面番号	区 分	種 別	工 種	路線・河川・地区名	位 置		工事費(千円) ()は用地補償費	新規継続の別	概要 上段:全体事業費 中段:令和8年度 下段:令和9年度以降	C=金額(千円) L=延長(換算) H=高さ(換算) A=面積(換算)
					市町村	大 字				
18	砂 防	防災・安全 交付金	急 傾 斜 地 崩 壊 対 策	茅 原 小 野 地 区	九重町	後野上	15,000 (5,000)	継続	C= 150,000 C= 15,000 C= 69,000	L= 278.0 L= 27.8 L= 127.9
19	"	"	"	井 の 尻 2 地 区	玖珠町	四日市	35,000 (0)	継続	C= 415,500 C= 35,000 C= 9,000	L= 293.0 L= 24.7 L= 6.3
20	"	"	"	三 本 杉 地 区	玖珠町	戸畑	10,000 (3,000)	継続	C= 110,000 C= 10,000 C= 60,000	L= 100.0 L= 9.1 L= 54.5
			小 計	3箇所			60,000 (8,000)			
	玖 珠 土 木 合 計			26箇所			1,631,633 (122,600)			

令和8年4月7日現在

ハ 単独事業費調書

※注1: 工事費は各事業担当課が別途送付する作業値を記載しており、執行額とは異なります。

※注2: 歳入不足等が生じた場合は変更が生じる可能性があります。

※注3: 事務費除きの工事費を記載しています

事業名	工事費(百万円)	摘 要
交 通 安 全 事 業	24.726	
側 溝 整 備 事 業	8.752	
道 路 防 災 事 業	82.662	
身 近 な 道 改 善 事 業	58.350	
道 路 改 良 事 業	262.575	
橋 梁 整 備 事 業		
道 路 施 設 補 修 事 業	57.183	
道 路 計	494.248	
河 川 海 岸 改 良 事 業	180.000	
緊 急 河 床 掘 削 事 業	30.000	
河 川 計	210.000	
急 傾 斜 地 崩 壊 対 策 事 業	247.000	
砂 防 施 設 再 生 事 業		
砂 防 調 査 費		
砂 防 改 修 事 業	40.000	
砂 防 計	287.000	
地域の安心基盤づくりサポート事業	4.260	
そ の 他 計	4.260	
合 計	995.508	

令和8年4月1日現在

二、災害復旧事業進捗状況調書

(建設災害)

年災害	決定工事費		令和7年度までの実施額			残 工 事		
	箇所数	金 額(千円)	箇所数	金 額(千円)		箇所数	金 額(千円)	%
5	23	879,160	23	932,065	100.0%	0	0	0.0%
6	8	247,184	8	267,119	100.0%	0	0	0.0%
7	6	66,093	6	61,543	100.0%	0	0	0.0%
計	37	1,192,437	37	1,260,727	100.0%	0	0	0.0%

(運輸災害)

計	該 当 な し							

災害合計	37	1,192,437	37	1,260,727	100.0%	0	0	0.0%
------	----	-----------	----	-----------	--------	---	---	------

ホ、工事検査実績調書

年度別	5	6	7	摘 要
検査件数	151件	128件	100件	中間・出来形・完成の合計件数(工事検査室検査を含む)
請負金額	4,262,300千円	3,272,575千円	2,379,481千円	

4. 用地、登記事務処理状況

1. 令和8年4月1日現在(昭和38年度以降)

区 分 \ 年 度	S38～H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
取 得 筆 数	11,640	50	35	35	55	124	91	68	48	15	71	12,232
6 年 度 ま での 処 理 筆 数	11,504	50	35	35	55	124	91	68	48	15		12,025
7 年 度 中 の 処 理 筆 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	68
残 筆 数	136	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	139
登 記 率	98.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.8%	98.9%

令和8年度 事業箇所

大分県玖珠土木事務所管内図

